

5つの畑で収穫体験

第1回やちよ・アグリウォークラリーを開催



▲自分の手で収穫した、とれたてのにんじんに大喜び。ゴールした後は農業交流センターで八千代市産の新米を使った餅つきも行われました

市内北部では、葉物野菜の栽培が盛んです。11月30日、島田地区でほうれんそう・だいこん・ねぎ・にんじん・ブロッコリーを収穫しながら約3kmを歩く「やちよ・アグリウォークラリー」が開催され、親子連れなど35組93人が参加しました。これは、農・商工業の関係者、消費者の代表などで構成する「八千代市生消連携をすすめる会」と農業交流センターが企画したもので、地元の野菜や農家の仕事を身近に感じてもらうのが目的。手で掘ったり、鎌や包丁で刈り取ったりと、野菜の種類で収穫方法が違うことを学びました。参加者は、住宅地近くにありながらも自然豊かな島田の景色も満喫。「楽しかった。また春や夏にも来てみたい」と話していました。

今号の紙面から

- ◆第4回定例会市議会の結果……2～3
- ◆都市計画道路の一部が開通………2
- ◆新川周辺地区
都市再生整備計画
……………4～5
- ◆ふれあい大学の学生募集………5



募集

「まぐいしるなやとワクワク劇場
「やちよ」の観覧者

市民会館40周年記念行事として、吉本興業をはじめテレビでおなじみの方々が出演。

▼日時 3月9日(日)午後2時開演 ▼場所 市民会館大ホール ▼内容/出演者

【第1部】お笑いオンステージ/林家正蔵、大木こだまひびき、キングオブコメディ、ブルーセレブ 【第2部】トーク「ふるさと、わが町あの一と、このひと」/市民代表者、ルート33 【第3部】ほのぼののこメディ劇場/吉本新喜劇、オーディション合格者 ▼参加費 全席自由2000円(当日2500円)

※宝くじの助成による特別料金 ▼申し込み 1月17日(金)から市民会館、八千代台勝田台文化センター、市農業協同組合本店、ドラッグYAMASE、大杉書店八千代緑が丘店、佐倉市民音楽ホール、イープラスへ

【ほのぼののこメディ劇場】の出演者を募集
2月23日(日)午後2時から市民会館で行うオーディションで選考します。人数は10人程度、年齢・性別は問いません。【応募方法】住所・氏名(フリガナ)・性別・年齢・電話番号・「まぐいしるなや」オーディション申込」と明記し、郵送、ファクスまたはメールにて276-1004 萱田町728(公財)八千代市文化・スポーツ振興財団(483) 5111c wakuwaku@yco.or.jp へ。2月7日(金)消印有効 (文化・スポーツ課)



募集

消費生活モニター

▼内容 ①消費生活についての意見・要望などの提出 ②消費者セミナーや、県の行事への参加 ③小売価格調査への協力
▼任期 4月1日から1年間 ▼募集人数 20人 ▼謝金 なし ▼応募資格 市内在住の成人 ▼応募方法 氏名(ふりがな)・性別・生年月日・住所・電話番号・職業・市内在住期間を明記した申込書に、400字程度の応募理由(市販の作文用紙可)を添付し、3月17日(月)消印有効で〒276-18501大和田新田312-15消費生活センターへ郵送または持参。申込書は消費生活センター、支所・連絡所で配布します。市HPからもダウンロード可 ▼選考方法 書類選考。結果は本人に通知します。応募書類は非公開で返却しません (消費生活センター)

25年度補正予算案など27案件を可決

25年第4回定例市議会が11月27日から12月19日まで行われ、25年度補正予算案など28案件を審議し、25案件が原案通り可決、2案件が修正可決、1案件が不同意となりました。

また、議員発議案の「八千代市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定」についても可決されました。

※新規制定条例の条文は省略します

予算案

●25年度八千代市一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出それぞれ1億6,879万7,000円を追加し、総額が521億5,032万5,000円となりました。

●25年度八千代市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ4億388万9,000円を追加し、総額が191億2,438万円となりました。

●25年度八千代市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) 歳入歳出それぞれ377万5,000円を追加し、総額が88億5,378万円となりました。

●25年度八千代市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ455万4,000円を追加し、総額が16億5,552万9,000円となりました。

●25年度八千代市水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収入及び支出の補正において、支出を430万2,000円減額し、総額が31億7,348万7,000円となりました。資本的収入及び支出の補正において、収入を6億円減額し、総額が12億3,349万6,000円に、支出を1,105万8,000円減額し、総額が31億9,422万8,000円となりました。

●25年度八千代市公共下水道事業会計補正予算(第2号) 収益的収入及び支出の補正において、収入を302万7,000円減額し、総額が27億6,212万1,000円に、支出を1,367万1,000円減額し、総額が29億2,886万5,000円となりました。

資本的収入及び支出の補正において、収入を8万4,000円減額し、総額が7億3,285万円に、支出を1,142万4,000円減額し、総額が16億6,240万2,000円となりました。

条例案

●八千代市総合グラウンドの設置及び管理に関する条例の制定について 八千代市総合グラウンド

を設置するため、条例を制定。

●八千代市一般職員の給料の臨時特例に関する条例の制定について 一般職員の給料の額を減額するため、条例を制定。

●八千代市税条例の一部を改正する条例の制定について 地方税法の一部改正に伴い、条例を改正。

●八千代市手数料条例の一部を改正する条例の制定について 確認申請手数料等の額を改定する等のため、条例を改正。

●使用料等の消費税等相当額の加算に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について(修正可決) 消費税法等の一部改正に伴い、条例を提出。題名を「八千代市道路占用料徴収条例等の一部を改正する条例」から改める修正案を可決し、条例を改正。

●八千代市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について 自動二輪車の駐車場を設置するため、条例を改正。

●八千代市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定について 環境経営応援資金を定める等により利用者の利便性を図るため、条例を改正。

●八千代市中小企業資金融資条例の利子補給に関する条例の一部を改正する条例の制定について 利子補給要件の適正化を図るため、条例を改正。

●八千代市下水道条例の一部を改正する条例の制定について(修正可決) 下水道使用料の額を改定する等のため、条例を提出。一般家庭用の従量料金のうち1立方メートル~20立方メートルの区分に係る平成26年7月1日からの改定部分を削除するなどの修正案を可決し、条例を改正。

●八千代市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について 消防法施行令の一部改正に伴い、条例を改正。

●八千代市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について 千葉県人事委員会勧告に準じ、一般職員の給与の額を初任給が民間との間に相当程度の差を生じている状況にあることから、初任給を中心に、若年層に限定して給与月額を改定する等のため、条例を改正。

●八千代市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について 次回の一般選挙から八千代市議会議員の定数を28人とするため、条例を改正。

その他

●契約の締結について(ふれあいの農業の郷歩道橋(下部工)工事) 市原建設工業株式会社と2億628万円で契約を締結。

●路線の廃止について 土地区画整理事業及び公園建設事業により起終点等に変更が生じたため、市道路線を廃止。

●路線の認定について 土地区画整理事業及び開発行為等により築造された道路を市道路線として認定。

●議決事件の一部変更について 公共工事設計労務単価の運用に係る特例措置に基づき、契約金額の変更契約を締結。変更後の契約金額は次の通り。「黒沢池近隣公園整備工事」2億1,624万7,500円「八千代市立八千代台東小学校校舎改築(建築)工事」13億5,247万6,320円「同校校舎改築(電気設備)工事」2億295万1,440円「同校校舎改築(機械設備)工事」1億7,066万7,960円「八千代市総合グラウンド建設工事」9億833万6,400円

●監査委員の選任について(2件) 25年8月31日付けで辞職したことに伴い、新たに江頭博彦氏を選任することに同意。他1件については、不同意。

●固定資産評価員の選任について 25年12月31日付けで退職することに伴い、新たに瀨能尾光男氏を選任することに同意。

諸般の行政報告

■台風26号の被害状況と市の対応 強い勢力を維持しながら10月16日の午前中に伊豆諸島及び関東地方に最接近した台風26号は、千葉県各地で土砂崩れ、床上や床下浸水の被害、鉄道、高速道路などの交通機関に運休や欠航、通行止めの発生など大きな被害をもたらしました。

本市でも、前日からの総雨量が306ミリメートルに達し、16日午前6時には、平成3年以降では最大の雨量となる時間雨量58.5ミリメートルを観測し、八千代1号幹線付近を中心に市内各地で浸水被害等が発生しました。

10月30日現在の集計では、床上浸水197棟、うち住家が154棟、床下浸水191棟、うち住家178棟、道路冠水18カ所、倒木20件、がけ崩れ8カ所のほか、農作物の被害が約700万円で、軽症ではありましたが、人的被害も2件発生しています。

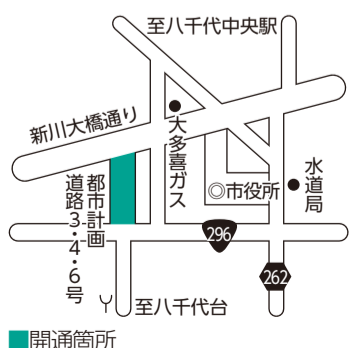
被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

市の対応など詳しくは、広報やちよ11月1日号、12月15日号に掲載。

■八千代1号幹線沿いの水位警報装置 広報やちよ11月1日号、12月15日号に掲載

都市計画道路の一部区間が開通しました

都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線のうち、下図の区間約210メートルが12月18日に開通しました。この道路の整備により、新川大橋通りから市消防本部方面が直進できるようになりました。また、新規開通区間には歩行者の安全確保のため両側に歩道も整備しました。(都市計画課)



成人式に出席できなかった人へ

1月13日(祝)の成人式に出席できなかった人に記念品(電子体温計)をお渡しします。受け取りの際は、成人式案内がきを持参してください。はがきを失くした人は青少年課☎(481)0306へご連絡ください。

▼期間 1月20日(月)~2月28日(金) ▼場所 教育委員会庁舎1階 青少年課(月曜・金曜日の午前8時30分~午後5時)または、各公民館(第3日曜日、祝日を除く午前9時~午後5時) (青少年課)

微小粒子状物質(PM2.5)の注意喚起の方法を見直しました

大気中に浮遊する小さな粒子のうち、粒子の大きさが直径2.5マイクロメートル以下のものをPM2.5と呼んでいます。

PM2.5は県内31カ所の一般環境大気測定局で毎日測定されています。広範囲の地域にわたって、PM2.5による健康への影響が懸念される日は、県からの情報提供をもとに、「防災行政無線」や「やちよ環境情報メール」などで注意喚起を行っています。

昨年12月10日から、この注意喚起の内容が次の通り変わりました。

- ①県内が「県北部・中央地域」と「九十九里・南房総地域」の2地域に区分されました。八千代市は「県北部・中央地域」に該当します。
- ②県北部・中央地域内の一般環境大気測定局におけるPM2.5濃度の1日の平均値が70マイクログラム/立方メートルを超えると予想される場合に、午前9時頃または午後1時頃に注意喚起を行います。注意喚起は原則として、当日に限って適用されます。
- ③注意喚起を実施した後、県北部・中央地域内28カ所全ての一般環境大気測定局において、PM2.5の濃度が午後4時までに2時間連続して50マイクログラム/立方メートルを下回った場合には、濃度が改善されたことをお知らせします。

そのほか、PM2.5の注意喚起に関する情報など詳しくは、千葉県ホームページをご覧ください。(環境保全課)

■八千代市公共施設再編に係る有識者会議の設置
八千代市では、昭和40年代から50年代における急激な人口の増加に伴う、さまざまな行政需要や住民ニーズに対応するため、多くの公共施設を建設してきており、建設から40年を経過している施設が50余りもあります。こうして建設された多くの公共施設の老朽化が進み、今後、その維持・更新に多額の費用が必要となる状況です。

このため、平成20年2月に「公共施設再配置等の方針」を定め、「保有財産の有効活用」「利用しやすい施設整備」「地域特性に配慮した施設整備」「施設整備にあたって考慮すべき事項」の4つの視点により公共施設の再配置等に取り組んできました。

また、24年11月には、最適な公共施設の再配置等を強力に推進することを目的に、全庁横断的な組織として「公共施設再配置等推進委員会」を設置したところですが、より一層、迅速かつ効果的に公共施設の再配置等を進めていくためには、有識者の方々の専門的知識、知見を活用していくことが重要であると考え、このたび10月に「公共施設再編に係る有識者会議」を設置しました。この、八千代市公共施設再編に係る有識者会議は、公共施設に関する政策または研究分野において実績のある有識者3名を委員として、専門的な立場から、客観的に、市の公共施設の現状を診断し、課題である更新投資予算不足を解消するための原則や方法についての提言を頂戴することを目的としており、26年2月を予定している提言書の提出をもってその任務を終えるものとしています。

提言書提出までに、全3回の公開会議を予定しており、25年11月4日の第1回会議では、市の将来人口や高齢化の状況、財政の見込みについて及び、今後予定されている施設を含めて将来必要となる更新投資予算などについて、厳しいご意見を頂戴したところです。

いずれにしても、この公共施設の維持・更新の問題は、今後避けては通れない課題であり、市民の皆様並びに議員の皆様方と一緒に取り組んでいく必要があるものと考えておりますことから、ご協力のほどよろしくお願ひします。

■東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質調査 市内の空間放射線量の自主測定は、25年4月からの第四期測定計画に沿って実施しているところですが、11月の定点測定結果は、22施設・110地点において地表0.5メートルで毎時0.06から0.16マイクロシーベルト、地表1メートルで毎時0.05から0.14マイクロシーベルトの範囲であり、10月の詳細測定結果については、213地点において地表1メートルで毎時0.05から0.17マイクロシーベルトの範囲であり、環境省令に規定する

除染実施計画を定める区域の要件である毎時0.23マイクロシーベルト以上の放射線量を検出した箇所はありませんでした。

また、9月から11月18日までの間で、小学校や公園等58施設で実施した施設管理者による測定の結果は、地表0.5メートルで毎時0.05から0.30マイクロシーベルト、地表1メートルで毎時0.05から0.16マイクロシーベルトの範囲でありました。

この測定において、勝田台小学校と新木戸小学校で、地表0.5メートルの測定値が基準値を超えていることが確認されました。勝田台小学校は、10月7日に中庭花壇で行った空間放射線量の測定の結果、地表0.5メートルで毎時0.09から0.30マイクロシーベルト、新木戸小学校は、10月7日に体育館裏で行った空間放射線量の測定の結果、地表0.5メートルで毎時0.08から0.30マイクロシーベルトの範囲でした。

基準値を超えた箇所については、遮水シートで飛散防止の措置を図った上で、立入制限をしました。勝田台小学校の除染作業は、10月22日に完了しています。除染作業は、文部科学省の「学校の校舎・校庭等の線量低減について」及び環境省が策定した除染関係ガイドラインに基づき、堆積していた土は、覆土を行いました。除染作業後の空間放射線量は0.06から0.07マイクロシーベルトの範囲まで低減しました。新木戸小学校の除染作業についても、今後実施していきます。

除染対策の結果は、市のホームページでお知らせするとともに、今後も継続的にモニタリングを実施していきます。

■清掃センターにおける放射性物質の測定結果 焼却灰1キログラム当たりの放射性セシウム濃度は、9月、11月に測定した結果、国の埋め立てに関する基準1キログラム当たり8,000ベクレルを下回りました。また、9月から11月に測定した焼却炉の排ガス、最終処分場周縁の地下水、浸出水処理施設の放流水の放射性セシウム濃度及び敷地境界での空間放射線量の測定結果は、それぞれ基準値以下でした。

今後も引き続き測定・モニタリングを行い、適正な廃棄物処理を行っていきます。

■食品の放射性物質簡易検査の実施状況 9月2日より食品の放射性物質簡易検査を実施していますが、11月20日までに52件の検査の申し込みがあり、9月に39件、10月に11件、11月は20日現在で2件の検査を行いました。その結果、10月に千葉県内で採取された「野生キノコのシロハツタケ」1件から1キログラム当たり162ベクレル、11月に市内で採取された「原木シイタケ」1件から1キログラム当たり206ベクレルのセシウムが

検出されました。この値は、一般食品の放射性セシウムの基準値である1キログラム当たり100ベクレルを超えていることから、放射性物質検査機器の貸与等実施要領に基づき、基準値の2分の1を超える値が検出された2件について、消費者庁に速やかに報告しました。

■原子力発電所の事故に伴う東京電力株式会社への賠償請求 上下水道局が23・24年度に公共下水道事業で支出した費用160万1,250円及び水道事業で支出した費用114万4,190円を9月11日に請求したところ、それぞれ11月1日と7日に支払われました。この結果、これまでに東京電力株式会社から支払われた賠償金の総額は、1,576万4,318円となっています。

福島第一原子力発電所の事故に伴う損害については、今後も、請求内容が取りまとめられたものから随時、請求していきます。

■コミュニティバスの新たな試行運行 広報やちよ12月15日号、1月1日号に掲載。

■八千代子ども親善大使のバンコク都訪問 広報やちよ12月15日号に掲載。

諸般の行政報告（追加）

■放射性物質調査のその後の対応 新木戸小学校で基準値を超えた箇所については、その後除染作業を行い、12月13日に完了しました。除染作業は、文部科学省通知及び環境省ガイドラインに基づき、堆積していた土は覆土を行いました。

除染後の空間放射線量は、地表0.5メートルで毎時0.05から0.06マイクロシーベルトの範囲まで低減しています。

また11月28日に勝田台南小学校で空間放射線量の測定を行った結果、地表0.5メートルの測定値が基準値を超えていることが確認されました。体育館裏で行った空間放射線量の測定結果は、地表0.5メートルで毎時0.15から0.28マイクロシーベルトの範囲でした。基準値を超えた箇所については、遮水シートで飛散防止の措置を図った上で、立入制限を行っていましたが、12月11日に除染作業を行いました。除染作業は、文部科学省通知及び環境省ガイドラインに基づき、表土を10センチメートル削り、土のう袋へ収納し、ブルーシートを被せ一時保管しています。除染作業後の空間放射線量は、地表0.5メートルで毎時0.09から0.14マイクロシーベルトの範囲となっています。今後、堆積していた土を、耐候性のある土のう袋に収納して、地下に埋設し、覆土する作業を実施していきます。

除染対策の結果は、市のホームページでお知らせするとともに、今後も継続的にモニタリングを実施していきます。

募 集 八千代市次世代育成支援行動計画 推進協議会の市民委員

八千代市次世代育成支援行動計画を具体的に推進していくため、計画事業の進捗状況について調査・審議等を行う八千代市次世代育成支援行動計画推進協議会の委員を募集します。

市内在住の成人で子育て支援に関する活動経験を有し、年4回程度平日昼間の会議に出席できる人。本市の審議会等の委員を5つ以上兼ねていない人が対象。

▼任期 26年4月から1年間 ▼募集人数 6人 ▼応募方法 2月14日(金)必着で次の書類を〒276-8501市役所元氣子ども課 genki@city.yachyo.chiba.jpへ郵送、メールまたは持参。
①「次世代の子どもたちに私たちができること」と題した800字程度の作文 ②住所、氏名(フリガナ)、生年月日、電話番号、年齢、性別、主な職歴、子育て経験や子育て支援に関する活動経歴、応募理由を明記した任意のA4用紙 ※書類選考。応募書類は非公開で返却しません (元氣子ども課)

募 集 社会教育指導員

公民館で行う講座の企画運営、社会教育団体の育成、学習相談など。社会教育活動の指導に熱意がある人を募集します。

▼任期 26年4月から1年間 ▼募集人数 9人程度 ▼勤務条件/場所 土曜・日曜日を含む週4日、29時間以内/市内の公民館 ▼報酬 月額12万2600円 ▼選考方法 書類審査と面接 ▼応募方法 1月28日(火)午後5時必着で次の書類を〒276-10045大和田138-2教育委員会庁舎内生涯学習振興課(481-0309へ郵送)持参。①「私が社会教育指導員として活動したいこと」と題した400字詰め原稿用紙3枚以内の作文 ②履歴書(写真貼付)
③社会教育指導員任用試験申込書 ※募集要項、履歴書用紙、申込書は生涯学習振興課、公民館、支所、市役所1階総合案内で配布。応募書類は非公開で返却しません (生涯学習振興課)

ファミリー・サポート・センターの協力会員になって 子育てを応援しよう

ファミリー・サポート・センターでは、お子さんの預かりや保育施設への送迎など、一時的・補助的な保育の支援を会員同士で行っています。子育てのお手伝いができる「協力会員」の登録を受け付けています。年齢・性別・資格などは問いませんが、基礎研修会(要予約)を1日受講していただきます。

▼基礎研修会の日程/場所 1月23日(木)午前9時30分～午後2時30分/教育委員会庁舎、3月3日(月)午前9時30分～午後2時30分/すてっぷ21勝田台 ▼申し込み 祝日を除く月曜～金曜日の午前9時～午後4時に電話でファミリー・サポート・センター(487-8300)へ

26年度の事業完了に向け工事也大詰めに

22年度から進めている新川周辺地区都市再生整備計画は、26年度に事業が完了する予定です。国の交付金の対象となる事業費総額は約71億円でしたが、25年11月に中央図書館・市民ギャラリーの事業費を見直し、約74億円となりました。国からの「社会資本整備総合交付金」は、このうちの約3割(約22億円)の範囲内で交付される予定です。

ここでは、対象事業を6つに分けて概要を紹介。現在の整備状況もお知らせします。カッコ内の金額は、国の交付金の対象となる事業費です。

総合グラウンド (約10億5,000万円)



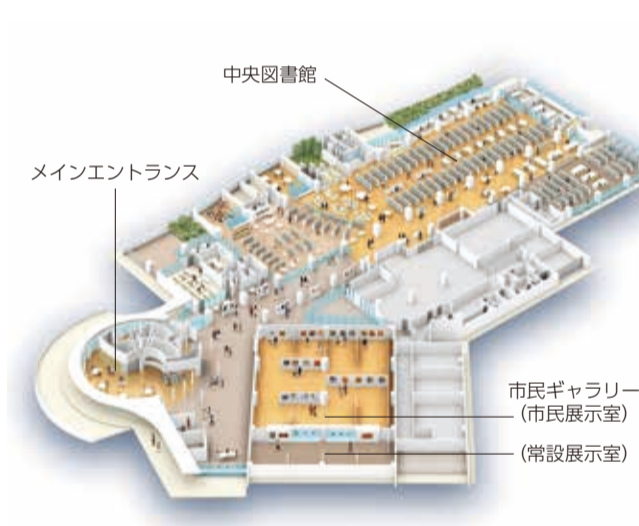
▲第4種公認陸上競技場。トラックの内側は人工芝を使用します

市単独費を含めると約12億9,100万円

市では毎年、小・中学生の総合体育祭を開催しています。平成12年度まで民間のグラウンドで行っていましたが、翌年度からは総合運動公園野球場で開催してきました。このため、グラウンド整備の要望が高まっていました。

完成後は全市的なスポーツイベントや総合体育祭の開催のほか、市民の皆さんのスポーツの拠点にもなります。夜間も使用可能で、トラックの内側は、サッカーやラグビー、ニュースポーツなど多目的に利用できます。施設名称は市民投票を行い、「八千代市総合グラウンド」に決まりました。

中央図書館・市民ギャラリー (約30億8,000万円)



▲円形部分がメインエントランス。複合施設として中央図書館・市民ギャラリーを建設しています

市単独費を含めると約36億200万円

平成16年に県立中央図書館の建設計画が中止になりましたが、地域図書館をバックアップする中央図書館の必要性から、市立中央図書館の整備に向け、検討をしました。また、20年以上前から美術館建設の要望があり、平成18年、市民ギャラリーのような市民の文化活動の場となる施設整備の提案を八千代市文化振興推進懇談会から受けています。

中央図書館の開架冊数は約17万冊で、閲覧席などは約400席となる予定です。市民ギャラリーは、市民展示室と常設展示室があり、常設展示室には星裏一氏の版画作品などの市収蔵美術品を展示する予定です。

やちよふれあいの農業の郷 (約5億6,000万円)



▲25年4月にオープンしたやちよ農業交流センター

市単独費を含めると約11億円

平成5年、農業振興を図るため、「やちよふれあいの農業の郷構想」を策定しました。平成17年に構想の見直しを行い、22年に本整備計画に取り込むことで施設整備を実現。昨年「やちよ農業交流センター」がオープンしました。

農業交流センターでは、種まきから収穫まで体験できる農業体験、野菜栽培講座や調理教室などを開催。バーベキューセットの貸し出しも行い、広く市民の皆さんに利用されています。今月下旬からは、ふるさとステーションと農業交流センターを結ぶペDESTリアンデッキの工事が始まります。

道路・橋梁などの整備(約18億5,100万円)

道路や橋梁の整備には、多くの要望が寄せられていましたが、財源に限りがあることから、なかなか改修が進みませんでした。本整備計画に取り込むことで、大規模な改修が可能となり、米本団地の外周道路、村上団地内の道路、八千代中央駅周辺の道路、勝田台駅周辺の道路など、区域内の20カ所の市道で再舗装などを実施しています。また、18カ所の市道で舗装の打ち換え・U字溝布設替えなどを行っています。さらに、4つの橋を修繕(塗装の塗り替えなど)し、城橋側道橋を新設しています。

このほか、段差をなくすために歩道の切り下げ改善や歩道視覚障害者誘導ブロックの設置なども進めています。

公園の施設整備 (約8億6,000万円)

村上駅前と大和田駅南側では、土地区画整理事業が行われ、新たに公園用地ができましたが、小規模な公園だったため、補助が受けられませんでした。また、老朽化した勝田台中央公園もリニューアルが必要という課題がありました。そこで、本整備計画に取り込むことでこれらの公園施設が整備できるようになりました。防災機能を備えた勝田台中央公園は、市民のふれあいの場としてだけでなく、災害時にも役立ちます。

多文化交流センター (約300万円)

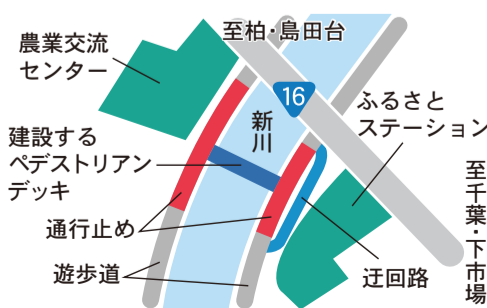
22年10月、多くの外国人が住む村上団地内の空き店舗を活用して開設。ポルトガル語・スペイン語・英語で相談に応じます。

お問い合わせは☎483-1151(代表)

- ◆都市再生整備計画/都市計画課
 - ◆公園・総合グラウンド/公園緑地課
 - ◆道路・橋梁など/土木建設課
 - ◆やちよふれあいの農業の郷/農政課
 - ◆中央図書館/生涯学習振興課
 - ◆市民ギャラリー/文化・スポーツ課
 - ◆多文化交流センター/国際推進室
- ※市ホームページでも概要が見られます

ペDESTリアンデッキ建設工事に伴い 新川遊歩道が一部通行止めになります

今月下旬から27年3月まで、新川遊歩道の一部区間が右図の通り通行止めになります。農業交流センター側には迂回路がありませんので、手前の八千代橋または城橋でふるさとステーション側へ渡ってご通行ください。ご協力をお願いします。(農政課)



募集

NPOフォーラムやちよの参加者

「地域のパワーでまちづくり」をテーマに地域づくりと市民活動について考えます。前半は参加者の意見を聞き、後半はNPOや自治会関係者がパネルディスカッションを行います。先着80人。無料。

▼日時 2月23日(日)午後1時30分～4時 ▼場所 市役所2階第1・2会議室 ▼申し込み 2月12日(水)までに電話かファクスでやちよ市民活動サポートセンター☎(481)3222☎(481)3221へ

ビでも活躍中の河合敦さん。先着200人。保育あり(要予約)。無料。

▼日時 2月7日(金)午後1時30分～4時10分 ▼場所 総合生涯学習プラザ ▼申し込み 1月24日(金)までに電話で生涯学習振興課☎(481)0309へ

■主な施設などの整備状況

やちよふれあいの農業の郷



農業交流センター、ふれあいの森、ふれあひ広場は既にオープン。ペDESTリアンデッキは、27年度に開通する予定です。

城橋側道橋



●交付対象事業費は約1億9,000万円

歩行者、自転車用の道幅3メートルの橋です。夜間照明も設置。25年4月に開通しました。

総合グラウンド

26年9月オープン予定。総面積は約2.6ヘクタール。現在、メインスタンドやトラックの内側を工事しています。

中央図書館・市民ギャラリー



25年度から工事を行っています。27年度には、延べ床面積6,000平方メートルを超える広々とした複合施設がオープンする予定です。

バリアフリー重点整備区域内



視覚障害者誘導ブロックを設置しています。写真は八千代中央駅へ向かうハミングロード。

あんしん歩行エリア内



歩行スペースを分かりやすくするため、歩道をカラー着色しています。



辺田前2号・3号・5号公園



村上駅周辺の辺田前土地区画整理事業でできた公園用地に整備。25年度にオープンしました。写真は新川沿いにある辺田前2号公園。

(仮称)1号・2号公園
大和田駅南地区土地区画整理事業でできた公園用地に整備します。27年度にオープンする予定です。

勝田台中央公園



●交付対象事業費は約4億6,500万円

25年4月にリニューアルオープン。公園内を一周できるウォーキングコースや健康遊具、小体育館などがあります。

黒沢池近隣公園



●交付対象事業費は約2億4,500万円

26年4月にオープン予定の約1.5ヘクタールの公園です。黒沢池を眺望できる展望デッキ、木道、あずまや、地形を利用した遊具などを設置します。

募集
葛南地方生涯学習振興大会の参加者
市PTA連絡協議会の事例発表のあと、記念講演会「世界一受けたい歴史の授業」～戦国時代と軍師の真相～を行います。講師はテレ

募集
親子で楽しむおはなし会の参加者
午前の部、午後の部に分けておはなし会を行います。内容は、午前の部は「音楽とおはなしの会」、午後の部は「ひとり人形芝居」です。いずれの部も先着70人。無料。
▼日時 2月22日(土)午前10時15分～11時15分、午後1時30分～2時30分 ▼場所 総合生涯学習プラザ ▼申し込み 電話で生涯学習振興課(481)0309へ

募集
認知症サポーター養成講座の参加者
認知症の基礎知識や認知症の人への接し方を学びます。地域の中で、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者「認知症サポーター」を増やし、誰もが安心して暮らせるようにすることが目的です。受講した人全員に、認知症サポーターの証となるオレンジリングを差し上げます。先着40人。無料。
▼日時 2月12日(水)午後2時～4時 ▼場所 市役所4階第2委員会室 ▼申し込み 電話で長寿支援課地域包括支援センター(483)1151へ

募集
地域デビュー講座の参加者
定年後をどのように過ごすか考えている人に、市民団体などを紹介して、定年後の地域デビューのきっかけを作ります。ふれあい大学の授業と合同で開催します。60歳以上のを対象。先着50人。無料。
▼日時 1月23日(木)午前10時～11時45分 ▼場所 市民会館小ホール ▼申し込み 電話で長寿支援課(483)1151へ

募集
26年度ふれあい大学校の学生
ふれあい大学校は、60歳以上の人を対象にした「学習の場」です。福祉センターの講座(原則毎週金曜日、定員100人)と、ふれあいプラザの講座(原則第2・4木曜日、定員50人)の受講生を募集します。どちらも修学期間は1年間で午前10時～午後3時に実施。午前は学習、午後はクラブ活動を行います。無料(学生会費等は別途徴収します)。
▼対象 市内在住で昭和29年4月1日以前に生まれた人(ふれあい大学校卒業生は除く) ▼申し込み 1月31日(金)までに、入学案内書に添付してある願書を、長寿支援課または支所連絡所へ提出。入学案内書は同課、支所・連絡所で配布しています。(長寿支援課)

お知らせ

市役所
〒276-8501 大和田新田312-5
☎483-1151 (代表)

台風26号により被災した住宅の復興資金利子補給制度

昨年の台風26号により住宅に損害を被った人が、住宅復興のための資金を金融機関から借入れた場合に2パーセントの利子補給を行っています。

▶対象 市民税課で発行する「防災証明書」の交付を受け、市内で住宅を建設・購入または被災住宅を補修する人で、26年3月31日までに金融機関から融資を受けた人 ▶利子補給期間 5年間 ▶対象となる借入金額 10万円以上500万円以下 ▶申請期限 3月31日(月) ※詳しくは建築指導課までお問い合わせください

指定管理者を募集します

次の施設の管理・運営を行う指定管理者を募集します。募集に関する詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。募集要項は文化・スポーツ課(教育委員会庁舎内)窓口で配布します。
▶募集施設 八千代市総合グラウンド
▶募集期間 1月27日(月)～2月25日(火) (文化・スポーツ課)

確定申告書、市民税・県民税申告書を送付します

千葉西税務署から「確定申告書」や「確定申告のお知らせ」が1月21日(火)から送付されます。

昨年の申告期間に、24年分の所得税の確定申告を各申告会場で相談・作成した人や、国税庁ホームページを利用して確定申告書を作成・提出した人には、確定申告書の用紙に代わり、「確定申告のお知らせ」が送付されます。市からは、25年中に市・県民税の申告をした人に「市民税・県民税申告書」が1月27日(月)から送付されます。

各申告会場で申告・相談する人は、届いた書類をお持ちください。

防災無線自動電話応答サービス ☎483-3770

24時間以内の防災無線放送の内容を確認できます

夜間・休日急病診療 月～金曜日 19:00～翌8:30 土曜日 17:00～翌8:30 日曜日・祝日 年末年始 8:30～翌8:30 つながらないときは、市役所☎483-1151か消防本部☎459-2441へ。当番医は、市ホームページでも見られます。	◆急病のときは、まず、当番医で受診を テレホン案内 内科系(小児科) ☎482-6870 外科系・その他の科目 ☎482-6871 歯科 ☎482-6872 ※小児科・その他の科目・歯科は、日曜・祝日・年末年始の8:30～17:00のみ
	やちよ夜間小児急病センター 東京女子医科大学八千代医療センター内 毎日18～23時 ☎458-6090 ※23時以降は☎450-6000へ こども急病電話相談 お子さんの急病時、受診が必要と判断に迷う時に看護師や小児科医が相談に応じます。 毎日19～22時 局番なしの☎#8000

▶問い合わせ 所得税確定申告書等…千葉西税務署☎043-274-2111、市民税・県民税申告書…市民税課☎483-1151

保険料の納付済確認書を送付します

次の保険料納付済確認書(25年中に納めた保険料額を確認するもの)を1月下旬にそれぞれ発送します。

※年金から保険料が天引きされている人は、年金機構などから送付される源泉徴収票をご確認ください。障害年金や遺族年金から保険料が天引きされていて、申告などに必要な場合は各担当課へご連絡ください

■国民健康保険料(国保年金課) ▶対象 普通徴収で保険料を納めた人または昨年中に年金から天引きされた保険料の一部が還付された人

■介護保険料・後期高齢者医療保険料(長寿支援課) ▶対象 市・県民税が課税された人で、保険料を口座振替で納めた人または昨年中に納めた保険料の一部が還付された人

介護保険の要介護認定を受けている人へ

要介護認定を受けている65歳以上の人は、その介護度などによって、身体障害者手帳などの交付を受けていなくても所得税や市・県民税の障害者控除の適用が受けられる場合があります。

また、おむつ代で医療費控除を受けられる場合、医師が発行する「おむつ使用証明書」が必要ですが、控除を受けるのが2回目以降で、かつ所定の条件を満たす人は、市が交付する確認書が証明書の代わりになります。

詳しくは、長寿支援課にお問い合わせください。

市営住宅の入居者を募集

申し込みには所得制限があります。また原則として、申込者(同居親族を含む)が自家所有者(登記簿上の名義人及び共有名義人)やUR都市機構、公社、公営住宅の入居者は申し込みできません。ただし、現在の家賃が収入に対して著しく高いなど、申し込みが可能な場合もあります。

老人世帯用住宅は、入居を申し込む人が60歳以上で、同居しようとする親族全員が18歳未満または60歳以上の世帯が対象です。詳しくは建築指導課へ。

▶資格 市内在住、または在勤の人 ▶申し込み 1月31日(金)までに、同課で配布の申込書に必要事項を記入し、必要書類を添えて同課へ持参【まつわ団地/米本2265-1】 ▶募集戸数 老人世帯用1戸(1階、単身者可) ▶間取り 4.5畳2間 ▶月額家賃 9,400円～1万8,500円【まつわ団地/米本2265-1】 ▶募集戸数 1戸(2階、単身者可) ▶間取り 4.5畳2間 ▶月額家賃9,400円～1万8,500円 いずれも浴槽、風呂釜付き。駐車場はありません (建築指導課)

募集 母子保健推進員

母子保健推進員は、市長から委嘱を受け「楽しく安心して子育てできるまちづくり」を目指して、市の保健師と協力しながら活動する地域のボランティアです。生後2～3か月児のいる家庭の訪問をはじめ、地域グループごとの自主的な活動も行っています。

▶応募資格 育児経験があり、次の地区またはその周辺に住んでいる人
①大和田新田地区 ②緑が丘地区 ③下市場・村上南地区 ▶応募方法 電話で母子保健課☎486-7250へ

赤十字活動資金にご協力いただきありがとうございました

25年度の日本赤十字千葉県支部八千代市地区における活動資金の募集について、多くの皆さんにご協力をいただき、ありがとうございました。

寄せられた総額682万617円(12月26日現在)は、災害救護や献血事業などの赤十字事業資金として有効に活用します。(日本赤十字千葉県支部八千代市地区・健康福祉課)

一日赤十字を開催します

八千代市赤十字奉仕団で「一日赤十字」を開催します。当日は、避難所運営ゲーム、AEDを含む心肺蘇生法、骨折時の対処法、担架訓練などの講習を行います。非常食の試食もできます。参加を希望する人は、当日直接会場へ。

▶日時 2月8日(土)午前9時30分～午後2時30分 ▶会場 福祉センター (健康福祉課)

保健

〒276-0042 ゆりのき台2-10
保健センター母子保健課 ☎486-7250
健康づくり課 ☎483-4646



1歳6か月児 歯科健診

むし歯予防のために歯科健診や歯みがきの相談などを行います。対象となる人には、個別に通知します。▶日時 2月12日(水)・14日(金)・18日(火)、3月6日(木)・17日(月)。受け付けは午後1時～1時30分(所要時間約90分) ▶場所 保健センター ▶対象 24年4月・5月生まれ ※通知の日程で都合の悪い場合や通知が届いていない人は、電話で母子保健課へ

1歳6か月児・3歳児健康診査

お子さんの発育・発達や生活習慣、子育ての状況などを、かかりつけの医師と確認する大切な機会ですので、ぜひ健診を受けましょう。対象者には個別に通知します。転入などで通知が届かない場合には母子保健課へご連絡を。

【1歳6か月児健康診査】 ▶対象 1歳6か月～2歳未満 ※歯科健診は1歳10・11か月に保健センターで行います。詳しい日程は、封書でお知らせします
【3歳児健康診査】 ▶対象 3歳4か月～4歳未満



歩いてはじめる 健康づくり講座

ウォーキングとストレッチ体操で健康づくり。先着30人。スリッパ等(内履き)、運動靴(外履き)、飲み物持参。運動しやすい服装で。▶対象 医師に

1月の納期	納期限は1月31日(金)		
	市県民税	4期	
	国民健康保険料	7期	
	介護保険料	7期	
	後期高齢者医療保険料	7期	

火災・救急時には119番			
救急車の適正利用にご協力ください	出動件数	12月	1～12月
	救急	799件	8,445件
	火災・その他	84件	831件
火災場所の問い合わせは☎459-0119へ			

下市場で揮発性有機化合物による地下水汚染を確認

下市場地区において、井戸水水質調査を実施しました。その結果、下市場2丁目の井戸1カ所地下水環境基準を2倍程度超える揮発性有機化合物であるトリクロロエチレンが確認されました。市では今後モニタリング調査を実施し、汚染の推移を監視していきます。(環境保全課)

高齢者保健福祉計画策定のための調査にご協力

介護保険の運営と高齢者の保健福祉について、27年度から29年度までの事業量や施設整備の必要度などを見込むためのアンケート調査を実施します。無作為に抽出した7000人に1月22日(水)から調査票を郵送しますので、回答期限の2月5日(水)までに返送してください。※ご家族が記入しても構いません (長寿支援課)

自然環境調査にご協力

市内の自然環境調査を行うため、千葉県環境財団の調査員が3月下旬まで谷津・里山を調査しています。この調査では生物や井戸、湧き水に関する聞き取り調査を行うこともあります。調査員は腕章、身分証などを携帯していますので、ご協力をお願いします。(環境政策室)

防災フェアを1月19日(日)に開催

家庭での防災対策や災害時のボランティア活動などについて考えてみませんか。▶日時 1月19日(日)午前10時～午後4時(雨天中止) ▶場所 フルルガーデン八千代 ▶内容 起震車による地震体験、赤十字奉仕団によるAED・三角巾体験、家具転倒実演や防止策の紹介、家庭で備えておきたい防災用品などの展示、老朽消火器の回収(一本1000円)など (総合防災課)

シユーバジョンとん汁」でニッポン鍋合戦に参戦が決定しました。応援をお願いします。1月26日(日)、埼玉県和光市役所。1月17日(金)までニッポン鍋合戦HPにて食べたい鍋総選挙」を開催中。八千代商工会議所☎(483)1771

19万人のひろば

社会教育功労者表彰を受賞

ボーイスカウト八千代第2団 千葉正さん



◀12月17日に表敬訪問し、市長へ受賞報告した千葉正さん(中央)

ボーイスカウト八千代第2団指導者の千葉正さんが、文部科学省の社会教育功労者表彰を受賞しました。昭和48年から同団の指導者となり、NPO法人ガキ大将の森の会代表、ボーイスカウト千葉県連盟理事など、永年にわたり尽力された千葉さん。「ボーイスカウト運動は、子どもたちを育むための一つの良いツール。みんなの理解を深めたい」と、今後も青少年健全育成活動に努めていきます。

公園美化活動ボランティア 現地見学会を開催

市が管理する公園などを、市民の皆さんが里親になり、清掃や美化活動をボランティアで行う環境美化里親制度(アダプト制度)。12月9日、佐山児童公園で公園美化活動の見学会が開催されました。

環境緑化公社から提供されたパンジーの花苗を、この公園の里親である大学町シニアクラブが植栽する様子を見学。意見交換会では、日ごろの活動を報告しました。同クラブ会長の関口さんは「公園は憩いの場。みんなに気持ちよく使ってもらいたい」と思いを伝えました。



▲手際の良い植栽作業に、見学者から質問が飛び交いました

いろいろな国の料理を楽しみながら仲良くなろう

村上東小学校で「むらかみインターナショナル子どもサミットPART5」

外国人の児童生徒が言葉や習慣の違いを乗り越え、異国の地で生き生きと暮らしていけるように、村上地区の5つの小・中学校では、むらかみインターナショナル子どもサミットを開催。5回目となる今回は、12月11日、村上東小学校体育館を会場に、57人の子どもたちが参加しました。

始めは緊張していた子どもたちも、レクリエーションゲームが始まると、すぐに打ち解けて仲良くなりました。今回のテーマは「いろいろな国の料理を食べてみよう」。ブラジルのストロゴノーフをはじめ、フィリピン・ペルー・タイ・ベトナム・日本の代表料理が並ぶと、子どもたちも興味津々。初めての料理に「おいしいのかな」と戸惑いながらも、食べ始めるとおかわりの列ができていました。食後もじ



▲バナナに衣をつけて揚げたベトナム料理のチューイチン。「シナモンをかけるとおいしいよ」

ゃんけんゲームを楽しみ、PTAや警察、地域の人たちと一緒に、会場は笑顔があふれ、にぎやかでした。

生演奏でジャズの歴史と魅力を楽しむ

八千代台公民館の主催講座「八千代悠々倶楽部」



▲「A列車で行こう」、「私のお気に入り」など全13曲の生演奏を満喫

八千代台公民館の主催講座「八千代悠々倶楽部」。春から8回にわたって八千代の歴史やフロアカーリング体験などを学んできました。

12月6日の最終回は、「ジャズの歴史と生演奏」がテーマです。ジャズの演奏の仕組みや、世界の音楽の影響を受けて変化してきた歴史などを、言葉と生演奏で解説。講師が叩き出すリズムに合わせて参加者が手拍子で掛け合うなど、気軽に参加できる即興演奏を体感しました。「ジャズは型にとらわれない音楽。その日の気分で自由に演奏できるのが魅力」と講師の児玉さん。ジャズに魅了された参加者からは、アンコールの声が上がりました。



リサイクル・ガイド

消費生活センター 電話485-0559

●この欄のお問い合わせは消費生活センターへ。受け付けは、土曜・日曜日、祝日を除く午前8時30分から午後5時まで(午後4時～5時は電話483-1151へ)。
【あげます】 ▶ひな人形(七段飾り) ▶花見川スイミングスクール・シルバーバッグ2個 ▶花見川スイミングスクール・女子水着(150cm・Mサイズ各1着) ▶ヤマハ電子ピアノ・クラビノーバ(14年前のもの) ▶洋皿セット一式 ▶チャイ

ルドシート(1歳～低学年) ▶エレクトーン(30年くらい前のもの) ▶縦型の小型掃除機
【ゆずります/有料】 ▶モーニング3点セット(Oサイズ、ウエスト105cm。新品同様)
【ゆずって/有料】 ▶熱帯魚用水槽(60cm以上) ▶ウォータークリーナー(池用) ▶勝田台小学校体操服・幼児用(130cm～) ▶普通運転免許用教本(教習所用)

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

結局は全部しゃべった酒の席 村上団地 成瀬 謙三
おもてなし鍋の料理に箸進む 村上団地 手塚 俊子
二極化のレース厳しき午の年 八千代台南 河田 達男
アメリカは夫婦喧嘩も傍受され 村上 上 佐藤 昌平
百八つ撞いても消えぬ生さる欲 緑が丘 日名 光一
拉致の子を生涯かけて父母は待つ 村上 上 菊田差知子
カラフルな毛糸が誘う冬支度 勝田台 梶田きみ子
強かな口です世辞も嘘も言う 八千代台北 林 はな

【投稿方法】 はがきに未発表の川柳(二枚に二句まで)、住所、氏名を書き、〒276-8501市役所広報広聴課川柳係へ郵送してください。締め切りは月末です

八千代歌壇

八千代市短歌会選

ひさびさに実家を訪えば父の気配母の気配が吾を迎える
(八千代台西) 百瀬水枝子
日展の戻り坂道さくさくと色さまざまの落ち葉踏みしむ
(八千代台北) 石川 静子
年々歳々冬は厚手の下着選る丸い母の背に思い重ねて
(大和田) 坂井 ワカ
生垣を廻らす農家に咲き盛る皇帝ダリアは日輪仰ぐ
(上野) 上岡あや子
花びらのパールの色ささえさと皇帝ダリアすくと立ちおり
(大和田) 秋山富美子
花八っ手ぱっかり浮かぶ散歩道秋の余情を楽しみ歩む
(八千代台西) 井沢 志麻
たいらなる残生いきむと七度目の巳年の晩秋惜しみて歩む
(勝田台) 石垣 玲子
孤独なる影を映すかサングラスまぶしささけてゆらゆら歩
(緑が丘) 中野八重子
選評 一首目、時折折訪ねる娘を両親はいつも待つて居た。年をへて今しみみと解るのである。父と母から分け与えられた命の意識。無条件の慕わしい情感がある。二首目、日展を観ての帰り道、色さまざまな落葉の散り敷く道を歩いていると作者は自分が絵の中の人になった気分になる。作者の感動と上の句のうまさを感じた。三首目、この回想歌は、優しい懐かしい母への想いである。丸い母の背とうたうそうだ母の背は丸いのだ。
【投稿方法】 はがきに未発表の短歌(一枚に三首まで)、住所、氏名を書き、〒276-8501市役所広報広聴課短歌係へ郵送してください。締め切りは月末です